



自立活動教諭（専門職）は、教育相談コーディネーターと共に、教育相談チームの一員として専門的な支援や助言を行います。

## 理学療法士（Physical Therapist）

- ① 姿勢・運動（身体の動かし方やセルフケア など）
- ② 身体の特徴・変化（疾患に関する情報提供 など）
- ③ 車いすの操作方法など
- ④ 介助方法（移乗、トイレ、更衣 など）
- ⑤ 校内の動線などを含む環境設定



たとえば…

- ☆足や腰などの痛みを予防するために、何を意識して生活していけばよいか？
- ☆身体を動かすときにどこまで、どの程度、動かしてよいか、活動量などの配慮点（体育の授業など）は、どのようなものがあるか？
- ☆車いすの操作方法、足や身体につけている装具などの使用目的や使用方法を教えてください。
- ☆床上から車いすへの移乗方法は、どのような方法で行えばよいか？
- ☆トイレの改修をしたいが、どのような点に注意して進めていけるとよいか？
- ☆災害時の避難方法は、どのようにすると安全に行うことができるか？
- ☆学校内の動線を、どのようにすると学校生活を安心・安全に過ごせるか？

研修の講師も行います。

## 作業療法士（Occupational Therapist）

- ① 気になる行動
- ② 姿勢・運動（動きのぎこちなさ、道具操作 など）
- ③ 学習（板書や授業の工夫 など）
- ④ 日常生活スキル（身だしなみ）
- ⑤ 環境の調整（教室環境や支援グッズの提案 など）



たとえば…

- ☆忘れ物が多かったり、提出期限を守ることが難しかったりする生徒への対応策は？
- ☆聴覚や触覚などに過敏さがある生徒への支援法は？
- ☆実技教科などで、動きのぎこちなさや道具の操作が苦手な生徒への支援策は？
- ☆板書の写しに時間がかかったり、写そうとしなかったりする生徒への支援策は？
- ☆いつも制服のシャツを出したまま着ていたり、前髪が目にかかっていたりする生徒への関わり方は？
- ☆合理的配慮としてのICT機器（タブレット端末など）活用の際の工夫は？

生徒の指導について学校と協力し、助言します。

## 言語聴覚士（Speech-Language-Hearing Therapist）

- ① コミュニケーション
- ② 学習（読み書き など）
- ③ 話し方（吃音、発音）
- ④ きこえ
- ⑤ 摂食嚥下



たとえば…

- ☆周囲の人とうまくコミュニケーションがとれない生徒への支援方法は？
- ☆言語理解に課題がありそうだが、理解力や対応を知りたい。
- ☆読み書きの難しさなど、学習に困難のある生徒への合理的配慮を知りたい。
- ☆吃音や不明瞭な発音への適切な支援方法は？
- ☆きこえにくいことに対する日常生活や授業での支援方法は？
- ☆食事中にむせたり、飲み込みづらそうにしているが、どう対応したらよいか？

## 心理職（Clinical Psychologist）

- ① 行動
- ② 学習
- ③ 環境
- ④ 情緒
- ⑤ 社会性（対人関係、コミュニケーション など）



たとえば…

- ☆行動面（問題行動・自傷行為・場面緘黙・対人トラブルなど）の支援方法は？
- ☆学習面（学業不振・学習支援など）や情緒面（キレる・無気力など）への支援方法は？
- ☆環境面（学習に集中できる教室環境・生活環境など）の支援について知りたい。
- ☆ソーシャル・スキルの指導（コミュニケーションやヘルプなど）について知りたい。
- ☆発達障害（自閉症・ADHD・LDなど）の傾向のある生徒の支援について知りたい。
- ☆社会資源の情報（自立支援のために、卒後も含む相談機関の紹介など）について知りたい。